

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がんに対する Artificial Intelligence (AI)を用いた診断・治療ツールの開発
	研究目的	がんを含めた疾患の診断は従来、医師による画像や検査値、臨床情報の評価により行われてきたが、見落としや誤診は避けられない。近年、人工知能（artificial intelligence : AI)による情報解析能力が進歩し、AI 診断・治療の社会への応用に向けた研究事業が進行中である。私達はがん臨床のニーズに合わせた AI 診断・治療ツールを開発し、患者さんの診断・治療の迅速化・最適化を目指す。
	研究対象者	神奈川県立がんセンターにおいて 2005 年以降、外来を受診もしくは当院に入院し、包括同意が得られ、レントゲン、CT、MRI、エコー、病理検査、細胞診検査などで画像情報が当院に保管されており、研究責任者、研究参加者が本研究対象として適切と選定した患者さん
	研究期間	西 暦 2020 年 6 月 1 日 ～ 西 暦 2028 年 3 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		☐ 血液 ☐ だ液 [X] 臨床検査データ ☒ 病理組織 ☐ 排泄物（尿・便） ☐ その他（記載して下さい） ☐ 毛髪 [X] 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	佐藤慎哉
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの 実施診療科/部 局等	がん分子病態学部
	共同研究の場 合、共同研究機 関および各施設 での研究責任者	千葉大学大学院千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 研究責任者：牧 聡